

半島ウォッチ

写真／柏本勝成 (STUDIO KITS) 文／浅井智香子 デザイン／斎田恵美子

観察と見学の旅に出かけよう！

今号のStepが提案するのは、“大人の自由研究”のススメ。

知多半島のさまざまなスポットを、探求心たっぷりにウォッチしてみよう。

すでによく知っているはず、の場所でも

「？」の気持ちがあるだけで、あら不思議。

ワクワクするおもしろさが見えてくるはず。

さあ、あなただけの

「発見」を持ち帰ろう！



Watch?



Look?
Discovery!



カワセミ発見! 奇跡の一枚

大府の農業を支える水辺

現在は、愛知用水から取水した水を、調整池として溜めている二つの池。増田池から水を汲み上げて人工の滝に利用したり、平戸池に循環させたりなど工夫して、富栄養化*)を防いでいるのは、農業用水として現役だから。

*)海水や川の水にふくまれる栄養分が自然の状態より増えすぎてしまうこと。

池に棲む亀をイメージしたという個性的な外観のセレクトナ。眺望ロビーからの眺めがすてき。

大府市自然体験学習施設
ニツ池セレクトナ
☎0562-44-4531
大府市横根町名高山88-1
9:00~17:00
月曜休(祝日の場合は翌日)
入館無料
seletona.com

Feel in town nature



自然を
楽しめるかどうかは
自分次第!

教えてくれた人! /

館長の
島田 勝彦さん



「なにがあつたのか? 想像が楽しい、
曲がついているのは粋?」

楽しむためのヒントがいっぱい

散策路のそこかしこに気づきをうながす立て札があるが、正解は特に用意されていない。まずは、気づき、そして、理由を想像してみよう。セレクトナの館長いわく、「森を楽しめる人はきっと、人生も楽しめるはず!」



「滝広場」で水の音に耳を澄ましてみよう!



平戸池の横には、
天然の沢のような風景が。



カワウ1万羽が 集まる池に 農村の歴史あり。

美浜町 鵜の山ウ繁殖地

のどかな里山の風景、大きな農業用のため池と、その周囲の木々に群れをなしてとまるカワウ。美浜町の「鵜の山」周辺は、初夏の散策にぴったりの場所だ。だが、その歴史を知ると、景色はがぜん違う意味を持って訴えかけてくる。昭和9年、この一帯はカワウ約1万羽が息する日本有数のコロニー(繁殖地)として天然記念物に指定された。世界で唯一、ここが人とカワウが共存共栄を果たした場所だからだ。当時、カワウは木々を糞害で枯らす厄介者だった。だが、その糞を地元民が肥料として利用したところ、農作物の出来が大きく飛躍。良質なリン肥料として脚光を浴びた。その規模は、明治時代には糞を集める作業が入札制度になったことから、うかがい知れる。町の一大産業になり、地域の財政も潤した。「小学校も公民館も“糞で”建った」とは、当時を知る美浜町の齋藤宏一町長の言。町は地域産業の立役者であるカワウを今も保護し、その歴史を今に伝えている。

Bird Colony

深谷さんとお話を伺っていたら...
偶然通りかかったのは
なんと、美浜町長さん!
一緒にいろいろ教えてくれました!



美浜町長の
齋藤 宏一さん

教えてくれた人! /



美浜町
観光協会の
深谷 聡さん



[ウ]の識別ポイント

[カワウ]の特徴

- くちばし基部の黄色い裸出部が口角でとがらない。
- 頬の白い部分は目の後ろにまっすぐ伸びる。
- 全体に褐色の光沢がある。

[ウミウ]の特徴

- くちばし基部の黄色い裸出部が口角でとがっている。
- 頬の白い部分が広い。
- 全体に暗緑色の光沢がある。

ウミウの方が若干
身体が大きい
カワウも結構大きい。

鵜飼いのウとは違うの?

鵜といえば、長良川の鵜飼いを思い浮かべる方がほとんどだろう。鵜飼いで、身体が大きく人になつきやすいウミウを使う。カワウは、一見して姿も色合いもほぼ同じ。違いのポイントに気をつけて観察してみよう。

カワウの体長は
80cmくらい。
羽を広げると
約130cmもある!



「オレンジラインハイキングコース」
途中にある、鵜の池。

散策がてら、買い物がてら

名鉄河和口駅と知多奥田駅をつなぐ全長11.1kmのハイキングコース、オレンジラインの中間地点にあたる鵜の山。すぐ近くには「ジョイフルファーム鵜の池」も。産直売場での買い物や、果物狩りを楽しんじゃおう。

美浜特産のみかんを使用した「みかンドレッシング」は25周年記念につくられた新商品。1本200ml 500円

ジョイフルファーム鵜の池
☎0569-87-6080 美浜町上野間中新田10
8:00~16:30 無休
※レストラン~15:00、月曜休(8のつく日・祝日は営業)
joyful-f.jp



生態を学んで 守ろうホタルの光。

ふれあいの森 ホタル養殖場

ロングローラーすべり台のあるわんぱく広場などが大人気の阿久比町立ふれあいの森。季節の草花がきれいに整えられた園内奥に、「ホタル養殖場」がある。手前の建物、「ホタル観察室」は、飼育と繁殖を中心に、ヘイケボタルの保護を行う拠点だ。対象は、山の清流で見られるゲンジボタルではなく、田んぼなど私たちのすぐ身近に生息しているヘイケボタル。餌となるのも田んぼなどにいるタニシで、採取してきては殻から身を取り出して与えるなど、手間ひまをかけて約1万5千匹を育てている。例年、孵化から一年をホタル観察室で過ごした幼虫を、ホタル養殖場に放流。光を放って舞う成虫を見られる「ほたる観察会」は、今年6月11日(金)・6日12日(土)の19時半から21時まで開催予定だ。なお、施設は日頃から、阿久比町のホタルの数を増やすための場として公開している。まずは、午前中などホタル専門員が世話をしている時間帯に訪ねて、幼虫の生態を観察してみよう。

【体の大きさ】

ゲンジボタル1.5〜2cmくらい
ヘイケボタル1〜1.2cmくらい。

これがヘイケボタルだ！

【羽】

ゲンジボタルは4mくらい飛ぶのに対し、ヘイケボタルはオスが地上1〜3mくらいまで。

【赤い部分の模様】

黒い模様がヘイケボタルのほうが幅広い。

【発光器】

ルシフェラーゼという酵素の働きで発光器内のルシフェリンという発光物質が酸化して光が発生する。



ヘイケボタルには、幼虫とサナギ期にも発光器がある。

教えてくれた人！

前ホタル専門員の
石黒 泰宏さん

ホタル
専門員の
山田 和男さん

サナギも光る！



なんとも可愛い顔の
ヘイケボタルのサナギ。
羽化を待つばかり。

発光器を透明な表皮が包んで光る
ホタルのおしり。

壁一面に資料や調査結果
がびっしり。ホタル博士に
なっちゃおう！

大切に育てられて栄養状態の
良いホタルの幼虫たち。

阿久比 白沢ホタルの里

18年前に一個人の坂部さん(阿久比白沢ホタルの会代表)が休耕田を利用して始めたホタルの飼育。毎年6月には鑑賞会が行われ、いまでは約10万匹が飛び交う全国でも屈指のホタル名所に。鑑賞会の日時は、決定次第、阿久比町の広報などでも告知される。お楽しみに！



ホタルのいる日本の風景をそのまま再現したよう。ホタルの見ごろには、アジサイの花が水路脇を彩る。
白沢ホタルの里 阿久比町白沢池下

気温が上がり過ぎないようにネットが張られたり水流が強すぎないように水路を蛇行させたり。工夫された放流場。



ふれあいの森 阿久比町板山比沙田78
※ホタル養殖場の職員駐在は午前のみ
阿久比町役場 建設経済部建設環境課 ☎0569-48-1111 www.town.agui.lg.jp



まるで石みたい。
虫みたくにも見えるヒザラガイ



Play on the

Rocky shore



ムラサキウニ



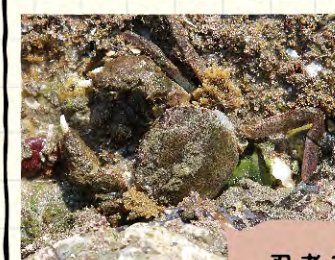
マツバガイ



黄色い渦は、なんと
貝の卵！
カラマツガイというらしい。



赤いきらげみみたいな
チゴケムシ、
黄色いのは岩のような
ナミソカイメン。
これもみんな生き物。



エビの仲間

忍者みtainなやつら

海辺の生き物たちにとって、
擬態はお手の物。じっと目を
凝らすと、藻をまじったモク
ズガニが隠れている。どこに
いるか分かります!?

Check it out!

南知多ビーチランドは
P49に情報あり!

観察のポイント

つかまえたら、特徴がよくわかるようにさまざまな角度から撮影しておこう。生き物を採取するにはコツがいる。あっという間に時間が過ぎていくから、生き物の名前は帰ってから図鑑やネットで調べよう。

あと便利な磯あそびの道具

- バケツや水槽など。
鑑賞しやすい透明がおすすめ。
- マリングローブ・捕獲用の網

海の生き物のことなら
やっぱりこの人たちに聞きたい！
南知多ビーチランドから
かけてくれましたー

教えてくれた人！
広報担当の
奥田 貴司さん

魚類担当の
伊藤 幸太郎さん



磯探索中のおふたり。



夢中です。



すいませーん、こっちを見てくだ...

...夢中です。



あ、やっと見た。

大人のホンキな磯遊び！
一時間でこんなに獲れたー！

初夏の海で 命とふれあう磯あそび。

野間埼灯台 磯遊び

海水浴にはまだ早い5月、6月の海。でも、水が冷たいだけで、海辺で遊ぶにはぴったりの季節だ。潮だまりを観察してみよう。潮が引いたのちに取り残された生き物の小さな世界が広がっている。観察しやすいポイントの一つは、野間埼灯台の下あたり。小学生が磯の観察会に訪れるスポットでもあり、なだらかな岩場が続いて、波も比較的穏やか。少し歩けば、足元はフジツボやイソギンチャクなどすでに生物でいっぱい。海に近づくほどに、足元の生物たちの分布が微妙に変わっていくのも面白い。静かに潮だまりをのぞけば、ちいさなボラやムラソイの子が海藻の間へとすばやく逃げ、透明なエビが身を隠し、ふと触れたイソギンチャクがピュッと水を吹き出す。岩場にくっついていいるものも、意外に植物ではなく生き物だったりする。気をつけたいのは満ちてくる潮。くれぐれも、うっかり遠征しすぎて波間に取り残されることのないように。安全に、生命の箱庭を楽しもう。



野間埼灯台 美浜町小野浦岩成20-1

きれいな色のギンポ！
体長30cmくらいまで
成長する。



あっ、手を振り返してくれた!?

スカイデッキ近くに到着した飛行機。思わず機長と副機長に手を振ってしまう。

独特の轟音とともに飛び立つ旅客機。何機見送っても飽きないのはなぜだろう?



take off!

Airplanes

スカイデッキの見どころを案内してくれました

教えてくれた人! 広報担当の柴 歩実さん

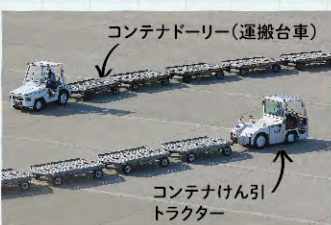


空港で働く車たち

飛行機が到着するのを待ちかねるように待機している、さまざまな働く車を観察するのも楽しい。たとえば、ハイドラントサービサー(写真右)は、地下を通ってくる配管からガソリンを吸い上げて、飛行機に供給する車だ。



ハイドラントサービサー(給油作業車)



コンテナドーリー(運搬台車)

コンテナけん引トラクター



ボーイングトラクター(航空機けん引車)



滑走路や駐機場を眺め続けていると、人や車、ボーディングブリッジの動きから、次の到着ロビーがなんとなく見えてくるから不思議。

夕景のスカイデッキ



大空広がるスカイデッキで飛行機見学。

中部国際空港セントレア
常滑市セントレア1-1
スカイデッキ開場時間 / 7:00~21:00
centrair.jp
●スカイデッキ開場時間は変更される場合があります。

中部国際空港 セントレア

中部国際空港セントレアの第1ターミナル4階イベントプラザに直結する屋外の展望デッキ「スカイデッキ」は、その先端から滑走路まで、300mの距離で航空機を眺められるスポットだ。見どころは、実に多彩。刻々と表情を変える景色とともに、国内線だけでも約10社もの飛行機の離着陸が見学できる。知多半島から西に突き出た中部国際空港の滑走路は、輝く海を背負った夕景が特に美しい。スカイデッキには、視界が確保しやすいように手すりを加工したビューポイントが6カ所ある。なかには、離陸に向けて進んでいく飛行機までわずか50mのスポットも。また、運が良ければ、航空機産業に強い中部地方の象徴、特殊貨物機「ドリームリフター」にも出会える。実は「ボーイング787(通称ドリームライナー)」の部品の35%は愛知県に生産拠点を持つ企業が製造しているのだ。翼や胴体の一部を積み込み、ボーイングの最終組み立て工場まで空輸する「ドリームリフター」を、日本で見られるのはこの空港だけ。



見かけたらラッキー? 珍しい「ドリームリフター」

中部地区の重工業メーカーが製造したボーイング787の大型部品は、セントレアまで海上輸送され、ドリームリフターに積み込まれてアメリカのボーイング社の工場まで航空輸送される。



スカイデッキの手すりには、尾翼の模様で航空会社が見分けられる一覧表が備えつけてある。



天体写真はイメージです。

高性能な望遠鏡で見る星々。肉眼で見るとは違う表情が楽しめる。



見て、触れて、宇宙や空について楽しく学ぶ展示室。



口径40cmのカセグレン反射望遠鏡は、口径が大きい分だけ光を集めるので、明るく星が見える。ちなみに人間の瞳孔はたったの7mm。



半田空の科学館
☎0569-23-7175 半田市桐ヶ丘4-210
9:00~17:00(イベント開催時は21:30)
月曜休(祝・休日の場合は翌日休)
入館無料(プラネタリウム観覧料・イベント参加費別)
sky-handa.com 春の企画展「知多のチョウと虫たち」を6月27日(日)まで開催中
●掲載のイベント情報は変更される場合があります。最新情報は随時ご確認ください。

こころは宇宙へ! 今宵はみんなで天体観測。

半田空の科学館

「半田空の科学館」は知多半島で唯一、プラネタリウムを備えた施設。季節ごとのプログラムで星空の投影を行うプラネタリウムと、地球や宇宙にまつわる展示を通して、天体の魅力を知ることができる。ここで開催されているのが、星に興味がある人向けのイベント「星見会」。季節折々の星座や月などを観察する定期的な催しだ。通常は、プラネタリウムでその日のテーマとなった星について学んでから、屋上の観測所へ。観測の目玉は口径40cmのカセグレン反射望遠鏡。本格レベルの天体観測を体験できる。また、夏には、しぶんぎ座流星群、ふたご座流星群と並ぶ、3大流星群のひとつ「ペルセウス座流星群」を真夜中まで観察する「星空キャンプ(8月開催予定)」もおすすめ。明る過ぎない知多半島の夜は天体観測にぴったり。大型の天体望遠鏡がなくても、月や惑星なら小型望遠鏡でも十分観測できるそう。さっかくだから、まずは暗い場所で夜空を見上げることから始めてみてはいかがだろう。

Look up at the Starry sky



直径18mのドームに240席の観客席が並びプラネタリウムホール。

毎月、その時期に見ごろの天体を観測する「星見会」6月の予定

- ☀ 6/5(土) 19:30~21:00
星見会「春の星空めぐり」
●定員40名/参加費大人300円・小人200円
- ☀ 6/19(土) 19:30~21:00
星見会プレミアム「星の動きで地球の自転周期を求めよう」
●定員2~6名のグループ、2組限定/参加費1組1,100円
- ☀ 6/11(金)、6/25(金) 19:30~21:00
大人のための観察会 星空パーティー
●定員5名(高校生以上)/参加費220円

星見会は科学館の窓口 電話・Webサイトにて 毎月5日から翌月の受付を開始。

教えてくれた人! 科学館の職員さん

